

経営健全化方針に基づく取組状況

○ 法人名：株式会社枕崎お魚センター

○ 経営健全化方針を策定した理由

平成29年度決算において、債務超過が7,324千円発生したため、策定したものを。

○ 財政的リスクの状況

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額 (単位：千円)	△7,324	△8,293	△16,890	△27,033	△37,108	△47,401	211
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額 (単位：千円)	—	—	—	—	—	—	—
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間5年以上の土地の簿価総額(A) (単位：千円)	—	—	—	—	—	—	—
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額(B) (単位：千円)	139,315	129,390	119,279	108,981	98,490	95,836	76,917
標準財政規模(C) (単位：千円)	5,987,547	6,024,040	6,016,453	6,197,728	6,557,106	6,359,339	—
実質赤字比率(%)	—	—	—	—	—	—	—
(A) / (C) (%)	—	—	—	—	—	—	—
(B) / (C) (%)	2.33	2.15	1.98	1.76	1.5	1.5	—

※端数処理の関係で実際の数値と異なる場合があります。

○ 主な取組状況（令和5年3月31日現在）

【テナント入店促進への対応】

・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、テナントが撤退した空きスペース2区画分に「枕崎の、緑茶。」ブランド発信事業の活用による枕崎茶の試飲スペースを設けて館内の賑わいづくりと誘客を図った。

【観光客誘客強化への対応】

・コロナ禍におけるマイクロツーリズム促進の取組として、テナント、地元業者と連携した毎月のイベント開催により、近隣地域からの誘客を図った。

・ホームページとSNSを連動させた情報発信の強化により誘客を図った。

・みなとの小さな水族館プロジェクトの取組により館内の魅力度を高め誘客を図った。

【レストラン部門等の売上強化への対応】

・レストラン部門は、メニューのリニューアルや期間限定メニューの提供などの取組により売上拡大を図った。

・直営部門は、ふるさと納税返礼品を充実させ売上拡大を図った。

・みなと食堂は、出汁にこだわったうどん・そばや地魚を利用したメニューを強化することで売上拡大を図った。

○ 法人の財務状況

貸借対照表から

(単位：千円)

	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
資産総額	152,421	136,932	120,615	137,832	117,663	159,571
(うち現預金)	31,485	27,903	12,505	33,431	17,064	64,855
(うち売上債権)	7,916	4,220	4,657	4,134	5,703	7,414
(うち棚卸資産)	5,118	4,555	3,469	3,527	3,249	4,039
負債総額	159,745	145,225	137,506	164,864	154,771	206,972
(うち当該地方公共団体からの借入金)	0	0	0	0	0	50,000
純資産総額	△7,324	△8,293	△16,890	△27,033	△37,108	△47,401

損益計算書から

(単位：千円)

	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
経常収益	159,073	157,256	148,733	126,705	134,242	152,680
経常費用	160,547	158,052	157,142	136,670	144,120	162,772
経常損益	△1,474	△796	△8,409	△9,965	△9,879	△10,092
経常外損益	△2	10	△6	5	△14	△19
当期純損益	△1,658	△968	△8,598	△10,142	△10,075	△10,293

※端数処理の関係で実際の数値と異なる場合があります。